



2019年4月  
設置構想中

福島で学ぶことに意義がある

# 福島県全域がキャンパス



## 福島大学 食農学類 (仮称)

Faculty of Agricultural and Food Sciences

専門領域

食品科学領域

作物・栽培学領域

農業経営学領域

生産環境学領域

入学定員  
100名程度

福島大学食農学類では、

福島県の農林水産業の復興・再生に向けて、学際的な思考力と高い実践力で食料・農業・農村問題へ主体的・創造的に対応できる、次のような人材を育成します。

- 1 先端的な農業生産技術を応用し、付加価値をつけて高度なマーケティングに挑戦することにより「もうかる農業」を実現できる人材
- 2 高度な食品加工技術や発酵・醸造技術を駆使して、地域の素材を生かした6次化により「新たな食産業」を生み出していける人材
- 3 原発事故にともなう農地・森林・水資源の汚染の中で、測量・土木技術を活用して環境回復を進め、地域再生に貢献していける人材
- 4 農業の現場を知り、環境マネジメントから地域計画まで幅広く修得し、総合力を発揮して自治体や農業団体を牽引できる人材
- 5 高齢化・人口減少の中で、新たな着想と熱いコーディネート力で、農村再生・いきいきした地域づくりを担っていける人材

取得可能な資格(予定)

HACCP管理者、フードスペシャリスト、食の6次産業化プロデューサー、食品衛生管理者(任用資格)、危険物取扱者、食品衛生監視員(任用資格)、測量士補、教員免許

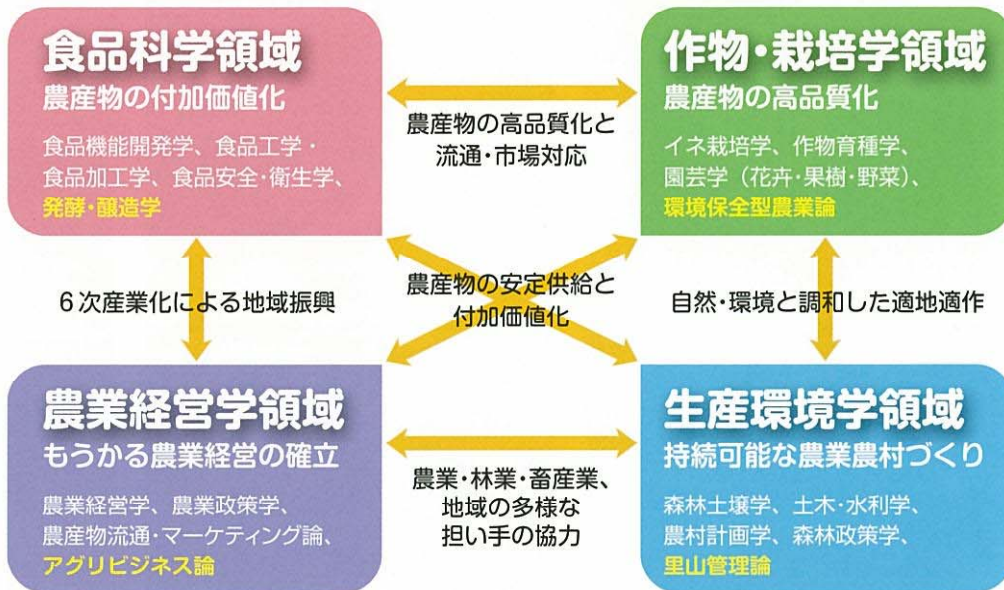
想定される主な就職先

食品関連企業、農業生産法人、農林水産技術職(国・自治体、農業団体等)、農業高校教員、農業・農村起業家、バイオマス関連企業、試験研究機関、IT・エレクトロニクス産業、地域おこし協力隊、復興支援員等

※この構想は2016年11月時点のものです。今後の検討により変更になる場合がございます。

## 食と農をつなぐ！「農学専門教育」

タテ割りではなく、有機的に結び付いた「4つの専門領域」で、総員38名程度の専任教員が密に連携した専門教育を行うことにより、確かな専門性と学際的な思考力を養います。



## 福島県全域がキャンパス！「農学実践型教育」



福島県全域を教育のフィールドとして、地方自治体・農業関係機関と密接に連携しながら、地域ごとの課題解決をめざす5～10のプロジェクトを設置し、教員総員で運営します。プロジェクトの中で、学生は地域に通い、課題の発見から解決策の提案までを経験し、専門知識を応用する実践力を身につけます。



**地域課題・キーワードの例**

**6次産業化** *Key Word*  
ワイン・日本酒、発酵食品（納豆・味噌等）、機能性食品、医福食農連携

**福島ブランドの復興** *Key Word*  
県特産品のブランディング（米・畜産・園芸）、風評払拭、地産地消マルシェ

**先端農業の推進** *Key Word*  
スマート農業とICT活用、農産物認証、“もろかる農業”の事業モデル構築

**地域再生** *Key Word*  
里山再生、循環型農業、菜の花で地域づくり、バイオマス活用と地方創生

